

文部科学省 平成 27 年度大学間連携共同教育推進事業



学生シンポジウム

人・サル・植物の関係から 知の源流と未来を探る



平成 27 年 11 月 8 日 (日)

14 : 00 ~ 16 : 45

教養教育共同化施設「稲盛記念会館」

2 階 208 講義室

主 催 : 京都三大学教養教育研究・推進機構

(京都工芸繊維大学・京都府立大学・京都府立医科大学)

リベラルアーツセンター

プログラム

14:00—14:05

1. 開会挨拶

京都三大学教養教育研究・推進機構

リベラルアーツセンター長 石田 昭人

14:05—14:15

2. 三大学合同交響楽団 演奏

14:15—14:45

3. 三大学学生研究発表 I

(京都工芸繊維大学：工、京都府立大学：府、京都府立医科大学：医)

○リーダー ○サブリーダー

① 「触れているようで触れられている!? — 植物の生存戦略」

○俣野慎太郎 (工・工芸科学部機械工学課程・1年)

植野 剛斗 (府・公共政策学部公共政策学科・1年)

浅野 優希 (府・生命環境科学部生命分子化学科・1年)

○川崎 茉希 (府・生命環境科学部生命分子化学科・1年)

吉田 詩織 (医・医学部 医学科・1年)

② 「味覚から考える食への工夫 — サル、ヒト、植物とおいしさ」

○中尾 貴一 (工・工芸科学部 生体分子応用化学課程・2年)

長野 翔 (工・工芸科学部 生体分子応用化学課程・2年)

○神崎千沙子 (府・生命環境科学部 生命分子化学科・2年)

吉田奈那子 (府・生命環境科学部 生命分子化学科・1年)

増子恵太郎 (医・医学部 医学科・1年)

山口 智生 (医・医学部 医学科・1年)

14:45—14:50

休憩

14:50—15:20 4. 三大学学生研究発表Ⅱ

③ 「Hand in hand — 協調性を考える」

小林 巧 (工・工芸科学部 生体分子応用化学課程・2年)

○西村 真衣 (医・医学部 医学科・1年)

○埜中 広一 (医・医学部 医学科・1年)

坂田 苑子 (医・医学部 医学科・2年)

④ 「高山における環境の変化と適応の連鎖—比叡山を通してヴィルンガ山地の未来を考える」

○伊藤あかね (工・工芸科学部 応用生物学課程・2年)

○神田 隼也 (府・生命環境科学部 生命分子化学科・2年)

清瀧康太郎 (府・生命環境科学部 生命分子化学科・2年)

石田 光拓 (医・医学部 医学科・1年)

高橋 昂久 (医・医学部 医学科・1年)

15:20—15:45 5. ゲストコメンテーターによるコメント

コメンテーター

山極 壽一 先生

松谷 茂 先生

人類学・霊長類学者 京都大学総長

植物学・植物園学者 京都府立植物園名誉園長



15:45—16:00 休憩

16:00—16:40 6. パネルディスカッション

16:40—16:45 7. 閉会挨拶

京都三大学教養教育研究・推進機構

運営委員長 小沢 修司

三大学の教養教育共同化とは・・・

京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の三大学は、平成26年度より国立大学・公立大学の枠を超えて、教養教育課程の共同化を行っています。

昨年9月には、京都府立大学のキャンパス内に、教養教育共同化施設「稲盛記念会館」が完成し、三大学の学生が一つのキャンパスで、多彩な教養教育科目の講義を受けることができるようになりました。幅広い視野と教養を身につけることはもちろん、学生間の交流が一層深まることにより、全く新しいキャンパスライフの実現を目指しています。

memo

